

特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク会議

平成 30 年度 通常総会議事録

1. 日時：平成 30 年 6 月 9 日(土) 10 時 00 分～11 時 42 分
2. 会場：サプリ村野南館 2 階 環境保全研修室
3. 正会員数：96 名
4. 出席者数：64 名（本人出席 32 名、委任状出席 26 名、議決権行使書出席 6 名）

5. 議題

- 第 1 号議案 役員選任に関する件
- 第 2 号議案 平成 29 年度事業報告書案承認の件
- 第 3 号議案 平成 29 年度活動決算書案承認の件
- 第 4 号議案 平成 30 年度事業計画書案承認の件
- 第 5 号議案 平成 30 年度活動予算書案承認の件

6. 議事経過及び結果

- (1) 事務局が本日の通常総会は定足数を満たして有効に成立している旨を述べて、開会を宣言した。
- (2) 司会の末岡氏から議長の選任について諮ったところ、満場一致をもって伊丹均氏を議長に選任した。
- (3) 議長が、議事録作成人に事務局、議事録署名人に廣田武司氏および井上祥子氏を指名した。
- (4) 第 1 号議案「役員選任に関する件」

理事会は上記議案を上程した。議案について丸井事務局長より説明があり、議長が全員に諮ったところ、全員異議無く原案どおり承認可決した。なお、下記の者が役員に選任され、全員その就任を承諾した。

<理事>

伊丹均、市山二郎、井上祥子、大倉伸之、黒津歩、小出哲男、末岡妙子、谷崎利男、谷本雅洋、豊高勝、小林雅祥、湊田太志、増本勝久、丸井晶子、渡邊宏二

<監事>

中塚賢、柳谷武志

- (5) 第 2 号議案「平成 29 年度事業報告書案承認の件」及び第 3 号議案「平成 29 年度活動決算書案承認の件」

理事会は、上記議案を上程し議案について丸井事務局長が説明をした。続けて中塚監事が、4 月 14 日に監査を行い問題がなかったことを報告した。次に議長が質問や意見を伺い下のような質疑応答が行われた。その後、議長が第 2 号議案、第 3 号議案についてそれぞれ承認をうかがったところ全員異議なく原案どおり承

認可決した。

※質疑応答概要

藤原：保険費はどこに含まれているのか。

丸井：保険には2種類あり、参加者に対する保険は各イベント毎にかけており、各事業費に含まれている。会員の活動に関する保険は、「管理費の保険料」に記載されている。

児島：出前授業で子どもがケガをした場合にもでるのか。

丸井：当団体の責任を問われた場合の費用は支払われる。

(6) 第4号議案「平成30年度活動計画書案承認の件」及び第5号議案「平成30年度活動予算書案承認の件」

理事会は上記議案を上程し、各議案について丸井事務局長が説明をした。次に議長が質問や意見を伺い、下のような質疑応答が行われた。その後、議長が第4号議案、第5号議案についてそれぞれ承認をうかがったところ全員異議なく原案どおり承認可決した。

※質疑応答概要

新井：今年度予算が前年度より約150万円減っているのはなぜか。

丸井：昨年実績と今年度予算の差異が大きいのは、モビリティマネジメント事業、助成金収入、補助金収入の項目である。モビリティマネジメント事業は、昨年度委託事業があり大きな事業収入となったが、今年度はまだ受注が不確定であるため予算には入れていない。助成金収入では、昨年ごみ減量事業でセブンイレブン記念財団からの助成金を頂いた。今年は近畿建設協会に申請したが受理されず助成金収入の予定がないということである。

末岡：モビリティマネジメントの委託事業について補足すると、昨年度は、京阪バスからの委託でバスの路線図を作成した。地図式路線図は人気があり他市からの依頼もあり広がりのある事業であるが、依頼があれば受けるというスタンスでやっている。そのため年ごとに予算や実績に幅が生じる。

池田：昨年が多かっただけで、今年度の予算が通常であると理解すればいいのか。

伊丹：その通りである。

馬淵：事業ごとに収支報告を出してほしい。

丸井：それぞれの事業については、事業計画書や事業報告書に記載している。

池田：それが一目でわかる表があればいい。

馬淵：どの事業が黒字なのか、赤字なのかがわかるような表があるとよい。

丸井：当法人の事業は、すべての事業に収入があるわけではなく、いろいろな収入を一旦合算し、必要な事業に振り分けるということをしている。

事業毎収支報告の形式については、検討する。

篠原：会員が一時増えていたのがまた減ってきている。一人二人でも少しずつ増やすために総力をあげていかなければ、会の存続が危なくなるのではないか。

丸井：15ページにもあるように、今年も昨年並みに推移している。昨年度は12名

の新規加入があった。これは、皆様の努力の成果であると思う。

篠原：ここの活動は、高齢者の生きがいづくりにもなるため、そういった団体にも声をかけていけば、もっと活性化できるのではないか。

伊丹：ぜひお願いしたい

児島：予算獲得のためにこういったところに力を入れる方向か。

丸井：市からの委託金や補助金は、通常徐々に減額されることを双方の担当の努力によりなんとか現状維持していただいている。温暖化事業では、企業からの寄付金もいただいている。助成金や寄付金などの常に獲得に頑張っているが人手が足りないのが現状である。もっと広く寄付等の協力をいただくためには、皆様の協力が必要である。企業訪問、申請書作成等どんな形でも結構なので、ぜひご協力いただきたい。

末岡：ぜひどなたか会員獲得リーダーに名乗りをあげてほしい。

馬淵：繰越金が少しずつ減っている。先を見据えた計画を教えてほしい。

丸井：中期経営プランというものを作成している。会費収入の予算の数値はそこから来ている。現状は、収入を増やす要素や見込が会費や助成金を増やすことしかない。

山下：サラリーマンで定年になる人は何人いるか。その方たちをうまく取り込んでいけないものか。

丸井：定年になる方の人数はわからないが、いろいろなところと連携していきたいと思っている。出前授業担い手にも元教師の方に声をかけているが会員になってくれる人は少ない。手伝いはできても、会員として活動するという一歩を踏み出そうとしてくれる人は少ない。その一歩を踏み出すためには、何かきっかけが必要である。

山下：おっしゃるとおり、誰かに直接声をかけていただかないと難しい。

丸井：ありがたいお話を聞けた。ありがとうございました。

議長は、他緊急を要する議案がない事を確認し、以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣言した（午前11時42分）。

上記の議事の要領および結果を明確にするために、議長ならびに議事録署名人2名が次に記名押印する。

平成30年6月9日

議長 伊丹 均 ⑩

議事録署名人 井上 祥子 ⑩

議事録署名人 廣田 武司 ⑩